

2019/10/25 (Fri.) 第120号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込5-73-3
 駒込SKビル1F
 〒113-0021
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

日医連 執行委員会開催

第25回参議院選挙を総括

委員長挨拶

執行委員会は釜淵敏常任執行委員の司会で開会、冒頭、挨拶に立った横倉義武委員長は、「本日は、七月の参議院選挙の結果を見て、今後どう対応していくか、ご議論いただきたい。羽生田たかし議員は当選できたが、前回から約十万票を減らした。



日医連執行委員会で挨拶する横倉委員長

当選をしたことによつてとしないと考えている。日医連、また、日本医師会としても、政治と医療と医療政策というものの関連をしっかりと考え直さなければいけない。今回、票が減った原因は分析するとさまざまな要因が出てくる。我々が保険診療、医療を行っていくなかでは、さまざまな法律で規制される。その

日本医師連盟は、9月17日に執行委員会を開催した。第25回参議院選挙結果の分析を行い、反省点を踏まえて今後の検討課題を話し合った。

次に、当日出席した羽生田議員、自見はなこ議員から挨拶をいただいたのち、今村聡副委員長から、第二十五回参議院選挙結果の分析について報告がなされた。

第25回参議院選挙結果の分析について

対応をどう考えていくかを議論いただきたい」と述べた。

法律は政治の場で決まってくるので、我々の意見をしっかりと政治の場に押しつけていかなければいけない。選挙の重要性は変わらないので、そこを会員にどう周知していくかである。今回の参議院選挙では、羽生田議員が二期目の当選を果たしたと同時に、東京選挙区では武見敬三議員が五期目、埼玉では古川俊治議員が三期目と、我々の仲間が当選している。この輪を広げていかなければいけない。そのため、三年後の選挙における

続いて、小玉弘之常任執行委員は、都道府県ならびに郡市区医師連盟(支部)に依頼し、回答を得た第二十五回参議院選挙後のアンケート調査結果について

第25回参議院選挙後のアンケート調査結果について

分分析して次回以降の選挙に役立てていただきたい」と述べた。

れた。今回の特徴として、自民党の全国比例区で特定枠二名が自動的に決まっていること、社会保障系の候補者が当選された四名のうち、看護師の石田昌宏候補、薬剤師の本田顕子候補は、全国でまんべんなく得票しているのに対し、羽生田候補は、特定の県が多数の票を獲得している形であること、獲得票が0の市区町村の数が自民党当選者のなかで圧倒的に多いことなどを挙げ、「配付した資料により都道府県あるいは郡市区医師連盟(支部)で今回の選挙結果を充分分析して次回以降の選挙に役立てていただきたい」と述べた。

自見はなこ参議院議員 厚生労働大臣政務官に就任!



第4次安倍第2次改造内閣発足に伴う人事が行われ、9月13日、日本医師連盟推薦の自見はなこ参議院議員が厚生労働大臣政務官に就任した。担当は「労働・子育て支援・年金」など。

最後に、小玉常任執行委員から「ご意見を踏まえての検討課題(別掲)について、十二項目が説明され、とくに「医師連盟(県・郡市区)における講演会等の集会のあり方」については候補者が講演するだけでは(4面へ)

ご意見等を踏まえての検討課題について

て、質問「6年前の参議院選挙結果と比べて、今回の羽生田得票数は約10万票も減少しましたが、その要因は何が考えられますか?最も大きな要因として下記から2つのみ選んでください」とは、「社会保障関係団体から10名もの比例候補者が立候補したため医師会票が分散した」、「選挙や政治に無関心な会員が増えた」が回答の約三〇〇%を占めたことを説明し、以降、質問項目に沿って説明が行われた。

羽生田先生からのご寄稿いただきました

自民党厚生労働部会長代理／参議院政策審議会副会長
参議院議員

羽生田 たかし 活動報告



革新的新薬への期待と現実

令和元年十月四日より第二回臨時国会が開会となりました。自見はなご議員が厚生労働大臣政務官に就任されるといった嬉しいニュースもあり、診療報酬改定の議論に向けて、その手腕に期待をすることがあります。

どうしてもその金額に注目が集まりますが、本来、新薬の登場というのは患者さんにとってみれば本当に待ち望んだものであるはず。

科学や技術の進歩、そしてAIやゲノム解析等の進歩などにより、今後も標的薬やオーダーメイド薬といったものまでの登場が視野に入る時代となりました。

海外ですらすでに億単位の金額の薬が承認されるなか、今後日本でも治験入りが見込まれ、患者さんからは期待の声もあるところ。

しかしながら、日本では公的保険制度において、この高額薬を保険収載することへの財政論や制度持続可能性の観点から不安視する声があることも事実です。

わが国は世界に冠たる国民皆保険を昭和三十一年に確立し、維持しており、他国では類をみない本当に恵まれた国であります。この皆保険が当たり前にすぎ、導入当初の目的や意義が忘れられ、制度の悪用ともとれる

利用や財政による保険者の持続性の問題、そして時代とともに進歩・高度化・高額化していく機器や材料・薬に伴い、医療費自体が高額化している一面もあります。

ところが、財政論者はこの高額化の一面においてしか評価しません。患者さん側からすると、治らなかつた病気が治り、長期にわたる治療が必要であった入院期間が大幅に短縮され、手術時間の短縮や切開の軽減、通院治療の拡大などにより社会復帰の早さ、そして働きながら治療することの可能性も大きく変化し、多様な生活に適應できるようになりました。

現在の民間保険は皆保険の給付範囲と同じ仕組みであり、医療費補填をはじめ、生活支援の要素が大きな割合を占めています(特記すると一部では再生医療)

療や不妊治療といった皆保険より広いカバーをしている保険も存在します。この民間保険の活用や給付範囲の拡大を期待していくのか、皆保険の給付がすべてを担うものであり続けられるのか、持続可能性は財政面での議論も必要でありますし、皆保険における給付範囲の議論はできるだけ迅速かつ丁寧に行われなければなりません。

あたかも「健康な人は保険料を納めるばかりで利用頻度が少ないから損をしている」といった声が永田町や霞が関からも聞こえます。本当に嘆かわしい言葉です。国民皆保険の制定意義を理解しておらず、その制定理念を勉強すべきであります。

日本人独特の倫理観



ラグビー議員連盟の一員として(日本代表ユニフォーム)

さて、近年C型肝炎完治薬をはじめ、オプジーボという肺がん(承認時は悪性黒色腫)の治療薬、直近ではキムリアという白血病難治性薬が高額薬として話題になりました。

いつも私はこのことによる経済効果の大きさをきちんと評価すべきと申し上げてきました。また医療、介護関係への就業者は八百万人を超え、雇用率、地域への定着率も高く、医療・介護における経済効果は地方においても大きな核となっており、そして何より医療費が消費といわれた時代からはかけ離れた医療の進歩が起きており、まさに「医療介護は消費でなく投資である」ということを私たちは強く訴えていかなければなりません。



日医代議員会にて挨拶

成育基本法推進全国大会



成育基本法推進全国大会にて挨拶

また、医療機器に関しても同じようなことが考えられますが、今回は薬、とくに革新的な新薬という視点で書かせていただきました。今後、この部分に関しては議論の場をつくっていただきたいと考えています。皆さまからのご意見、お声をいただきますようお願い申し上げます。最後にお願い申し上げます。

また、医療機器に関しても同じようなことが考えられますが、今回は薬、とくに革新的な新薬という視点で書かせていただきました。今後、この部分に関しては議論の場をつくっていただきたいと考えています。皆さまからのご意見、お声をいただきますようお願い申し上げます。最後にお願い申し上げます。

本年十一月二十四日(日)十七時より「羽生田たかし君と明日の医療を語る会」として、後援会長である横倉義武会長のご了解を得て全国医師会・医師連盟医療政策研究会と同日に東京プリンスホテルにてセミナーを開催させていただく運びとなりました。

令和元年度 中国四国医師会連合総会 懇親会



中四国医師会連合総会懇親会にて挨拶



近畿医師会連合総会懇親会にて挨拶



全国医師国保全体協議会にて挨拶

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



令和元年台風15号・19号に際して

平素より大変お世話になっております。今般、相次いだ自然災害によってお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。九月九日に関東地方に上陸し、千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風15号では、停電をはじめ、建物やインフラの被害も甚大で、国民生活に多大な影響がありました。被災直後の急性期を過ぎた十月三日に、



被災した千葉県君津市の鈴木病院にて、鈴木研也理事長から説明を受ける(10月3日)



千葉県木更津市立久津間保育園で園長から当時の被災状況についてお話を伺う(10月3日)



千葉県木更津市の大寺浄水場にて台風15号による被害状況を視察(10月3日)



厚生労働省災害対策本部会議にて台風19号への対応を協議(10月13日)

難所における衛生面などの環境整備のため、保健師や民生委員、行政関係者の皆さまとの緊密な連携のもとで献身的に取り組んで下さ

十月八日に厚生労働省災害情報連絡室を設置し、十月十三日には加藤勝信厚生労働大臣を本部長とする厚生労働省災害対策本部会議を開催し、被害状況等について確認を進めるとともに、被災自治体におけるニーズの把握、被害の拡大防止と被害に遭われた方々を支援するた

め、厚生労働省が一丸となっての取り組みを進めております。一例として、常備薬を持参せずに避難してきた方もいることから、厚生労働省では、処方箋がなくても調剤ができる旨の通知を東日本大震災・熊本地震の際に医薬局から出しています。この通知が今般の台風被害についても有効であることを確認し、各自治体に周知すること

いたしました。災害時には、怪我をされた方のほか、障害のある方、人工呼吸器を使用している方、介護を必要とする方など、弱い立場にある方々に最大限の配慮が求められることから、医師の果たす役割が大変重要です。

日本医師連盟の先生方におかれましては、JMAT、DMAT、P MATとして被災された皆さまの命と健康を守る活動や、避

め、厚生労働省が一丸となっての取り組みを進めております。一例として、常備薬を持参せずに避難してきた方もいることから、厚生労働省では、処方箋がなくても調剤ができる旨の通知を東日本大震災・熊本地震の際に医薬局から出しています。この通知が今般の台風被害についても有効であることを確認し、各自治体に周知すること



9月13日総理大臣官邸にて、大臣政務官就任の記念撮影(左) 厚生労働大臣室にて。加藤大臣、橋本岳・稲津久両副大臣、小島敏文政務官とともに、頑張ります!(右)



厚生労働大臣政務官就任のご報告

先般発足いたしました第四次安倍第二次改造内閣において、加藤厚生労働大臣のもと、大臣政務官(労働・子育て支援・年金担当)を拝命したことをご

いまして、心から御礼申し上げます。そのようななか、「乳児用液体ミルクの普及を考える会」(会長・野田聖子衆議院議員、事務局長・自見はなこ)として解禁に尽力し、本年三月に発売となった乳児用液体ミルクが支援物資として大変役に立ったとの情報がありました。平成二十八年の熊本地震の際、フィンランドから緊急輸入されたことをきっかけに国内解禁の議論を始め、私のライフワークのひとつとして

て取り組んできた液体ミルクが、実際に災害の現場で役に立ったと聞き、本当によかったと感じました。昨年十一月には、災害時の乳幼児支援を目的とする日本栄養士会災害支援チーム(JDADAT)「赤ちゃん防災プロジェクト」も発足し、液体ミルクも含む防災備蓄や災害時の避難所環境整備などに尽力をいただいています。引き続き、こうした取り組みと連携し、防災減災をしっかりと進めて参ります。

フィジー出張のご報告

八月二十二日から二十五日にわたりフィジーで開催された「グローバルヘルスに関する

野に挑むにあたり、身の引き締まる思いです。わが国が世界に誇る国民皆保険をはじめとする安心の社会保障制度を次世代に伝えていくため、政府の一員としての立場からも、誠心誠意全力で取り組んで参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

なテーマが山積する分野に挑むにあたり、身の引き締まる思いです。わが国が世界に誇る国民皆保険をはじめとする安心の社会保障制度を次世代に伝えていくため、政府の一員としての立場からも、誠心誠意全力で取り組んで参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



田村先生、武見先生と、フィジー国会のエベリ・ナイラティカウ議長(左から3人目)、葛西WHO西太平洋地域事務局事務局長(右から2人目)とともに

り難うございました。

ましたこと、心より御礼申し上げます。厚生労働大臣政務官就任直後に、このような激励の機会を賜り、身に余る光栄と深く感謝するとともに、皆さまからいただいたお言葉を心に刻み、大役をしっかりと果たす決意を新たにいたしました。本当

「自見はなこさんを励ます会」のお礼
九月十七日、東京プリンスホテルにて、横倉義武日本医師会会長(自見はなこ後援会会長)に発起人になっていただき、「自見はなこさんを励ます会」を開催していただきました。当日は多数の皆さまにご来場いただきましたこと、心より御礼申し上げます。厚生労働大臣政務官就任直後に、このような激励の機会を賜り、身に余る光栄と深く感謝するとともに、皆さまからいただいたお言葉を心に刻み、大役をしっかりと果たす決意を新たにいたしました。本

た。保健制度の確立と結核やマラリアなどの感染症対策も急務ですが、加えて食生活の欧米化により非感染性疾患(NCDs)罹患率が成人の三割から五割以上と深刻でした。議長は武見先生が務め、田村先生は、日本の高齢化社会における介護と医療の取り組みとDMAT・JMAT・PMATなどの災害医療の仕組み、私はNCDsに関連し



日医連執行委員会

(一面より)
一般会員の理解が得られないので、膝をつき合わせた対話集会のようなものが求められるのではないかと考えた。意見が出されたこと、その他、「病院若手経営者の会の創設」、「女性の会の創設」、「医政活動研究会見直し」、「組織内候補の擁立のあり方(公募方法)」を強調した。

各県の選挙への取り組みや反省点について

このあと、今回の厳しい選挙のなかで、A①会員が三十三人で五百十三票、会員一人あたり一六・〇三票を獲得した山口県萩市を横倉委員長が紹介し、山口県の河村康明委員長から、①統一地方選挙後の一月月で集中的に頑張ったこと、②小さな市で連絡がつかずやすいこと、③会員数の割には中小病院があり、従業員も多く、中小病院の票が結果に結びついたことなど、萩市の選挙活動が紹介された。このほか各県から、きめ細かいローラー作戦の展開の必要性、医師会の組織率アップ、若い医師の選挙への意識改革、週一回の地区医師連盟役員集と各地区的状況報告、電話作

戦の徹底、魅力ある候補者の選出など、選挙への取り組みや反省点が述べられ、今後の課題などが話し合われた。

都道府県医師連盟事務局会議開催

執行委員会開催に先立って、午前中に都道府県医師連盟事務局会議が開催された。日医連事務局から第二十五回参議院選挙結果、アンケート調査結果が説明され、その後、各県医師連盟の活動等について報告が行われ、意見交換をした。

ご意見等を踏まえての検討課題

- 1 医師会における「医政活動の重要性」の啓発。(各種委員会等における「政治からの遮断」の解消)
- 2 医師連盟活動として、日常的な「医政活動の重要性」の訴え。(予算や診療報酬改定に直結していることを理解)
- 3 日医連の中央会議を増やし、地方役員等との接点を多くし、日頃からの密接な連携の構築。
- 4 医師連盟(県・郡市区)における講演会等の集会のあり方。
- 5 各医師連盟(県・郡市区)と地方議員との密接な関係の構築。(各種選挙支援や県政との役目等)
- 6 病院若手経営者の会の創設。
- 7 女性の会の創設。
- 8 医政活動研究会見直し。
- 9 組織内議員の活動について、目標設定と検証を行う。
- 10 組織内候補の擁立のあり方(公募方法)。
- 11 選挙手法としてSNS活用等の一層の取組み。
- 12 医療機関廻りについて、限定的な会員だけでなく他の会員へアプローチできるように普段からの活動展開。

十月十日、「医療政策研究会(自民党の中堅・若手議員と日本医師連盟との医療政策に関する勉強会)」が開催された。当日は九十一名の国会議員(代理を含む)、日医連役員、東京都医師政治連盟役員が出席した。武見敬三参議院議員は、「今年診療報酬改定の年であり、日本



医療政策研究会で挨拶する横倉委員長

のように考えておられるのかお伺いしたい」と挨拶した。次に、横倉義武日医連委員長は挨拶のなかで、「全世代型社会保障検討会議が官邸で始まるということで大いに期待しているが、メンバーに医療提供側の代表が入っていないので、財政論だけで議論が進むのではないかと心配している。すべ

ま担当の西村康徳大臣、鈴木俊一自民党総務会長等のもとに出向き対応を訴えたところ、自民党の人生100年時代戦略会議のもとに議論する場をつくっていただいた。その方向性がどちらに向かうかは、今後の議論の結果である。しかし、当然のことながら、国民皆保険を中心とした現在の社会保障制度の安定した継続を私どもは維持していかなければならない。そのために、本日出席の先生方のお力で、しっかりと議論を進めていただきたい」と述べた。

医師会と緊密に連携し、医療現場の意見を政策に反映させたい。政府では全世代型社会保障検討会議が立ち上がり、自民党では人生100年時代戦略会議が立ち上がった。政府と党とで車の両輪でどのような形で議論が組み立てられていくのか、その流れをしっかりと把握しなければならぬ。そのなかで、日医がこの事態を踏まえてどのように考えておられるのかお伺いしたい」と挨拶した。



医療政策研究会の様子

第26回医療政策研究会開催

「全世代型社会保障」について議論

受診時定額負担など患者負担増ありきの議論に

強い懸念を示す

不安も解消していくことが重要であると考える」と述べた。

その後、厚生労働省が、全世代型社会保障検討会議の議論、給付と負担の見直しによる社会保障の持続可能性の確保等について説明し、最後に、後期高齢者の窓口負担・定額負担、高額薬剤、予防へのシフト・健康寿命の延伸、企業の内部留保への課税、生産年齢人口の維持などについて質疑応答が行われ、研究会は終了した。